

Dr.わーだ一の養生記

vol.41

「おとなしい」

こちいいん わだ とよふみ
心血医院 院長 和田 豊郁



ほとんどの人はこどものときに『おとなしくしなさい!』と数限りなく指導されていたと思います。おとなしいは大人を形容詞化したもので、こどもの態度がオトナっぽいことを言うのが本義で『穏やかで従順で落ち着いている』ことを言いますが、『音無し』語源説もあり『騒がず静かにしている』ことでもあります。こども達は どうしておとなしくしなさいと言われるのでしょうか?

500万年以上前にジャングルを追われた人類は雨宿りに入った洞窟で暮らすようになり、そこから出た人たちは動物の皮を使ったテントや、その後さまざまな材料で家を作ります。元々遠くの人と意思疎通をするための声ですが洞窟や家の中ではひびくので加減して声を出す必要があります。こどもの発声は常に全力。ですから家の中では静かに!と言われるのです。家が壊れたら大変ですからおとなしくしろ、外で遊べ!と言われるのです。もちろん外ではおとなもこどももおとなしくする必要はありません。

■ 心血医院(こちいいん)

久留米市日吉町14-68 / TEL.0942-65-5129

診療時間:〈月〜土〉9:00〜12:00、〈月火・木金〉19:00〜22:00

休診日:日祝・盆・年末年始